

「堺シティオペラ一般社団法人」は大阪の堺市で「堺市民オペラ」として誕生し、今年で

44年を迎えました。オペラの公演を始めた頃から海外の歌劇場やオペラ団体と一緒にオペラを作り、

2006年には日本のオペラ団体で初めてイタリアのブッチーニフェスティバルから招待され

「蝶々夫人」を現地の歌手やオーケストラと一緒に公演し日本の様式美と西洋のオペラが

イタリアのお客様に喜ばれ新聞やテレビでも取り上げられました。2019年には日本とオーストリアの

国交150年を祝ってウィーンで堺シティオペラオリジナルのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』を

行い、現地の皆さんと交流を深めました。同じ年、堺市に新しいホールフェニーチェ堺が完成し、

出演者・スタッフ合わせて350人以上でオペラ『アイーダ』を公演しその大スペクタクルオペラは、

日本全国から注目されました。昨年の公演『il Teatro L'alba L'amore〜トウランドット』、

一昨年の公演『アイーダ』は大阪文化祭の最高の賞に輝きました。



G.ブッチーニ 『トウランドット』より



G.ヴェルディ 『アイーダ』より

知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の日です」~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10

月1日を世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の

日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

ぶんかげいじゆつ こども いくせい そうごう じぎょう

文化芸術による子供育成総合事業

じゆんかいこうえんじぎょう

一巡回公演事業一

さかい 堺シティオペラ オペラ

『おこんじょうるり』



岡本忠成 作品集 4K修復版 [Blu-ray]より引用

ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう

「文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演事業一」

わ くに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ぶたい

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台

芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、

将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。

また、実演ではできるだけ子供たちに参加してもらいます。



# 堺シティオペラ オペラ 『おこんじょうるり』

おこん：<sup>はなし</sup>こぎつね <sup>め み</sup>ばばさま：目の見えないイタコ <sup>りょうし</sup>じんざ：きつねをとる獵師 <sup>うま せわ まご</sup>ごんすけ：馬の世話をする馬子

## どんなお話？

山奥の一軒家に目の見えないばばさまが住んでいた。そこにお腹をすかしたこぎつねのおこんが忍び込んでくる。ばばさまは獵師のじんざからもった大事なお弁当をおこんに食べさせてやる。おこんはお礼に特別な力がある“じょうるり”でばばさまの腰の痛みを治してやる。一人ぼっちだった二人に友情がめばえ二人は一緒に暮らすことになった。

ばばさまのじょうるりの力は評判となり ばばさまは殿様からたくさんの褒美をもらった。それを知った馬子のごんすけがその財宝を狙ってばばさまにおそいかかるが…

かたい友情で結ばれたおこんとばばさまと 優しいじんざとやんちゃなごんすけによる 笑いあり涙ありの心温まる物語。

## オペラって？

日本語にすると「歌劇」

「物語を音楽で進め、その内容を歌って表現する劇」です。

1600年ごろイタリアで生まれました。

マイクを使わなくても会場いっぱい響く声。

喜びも悲しみも怒りも楽しさも、歌声とお芝居で表現します。

原作：さねとうあきら  
作曲：林光 (はやし ひかる)

演出：茂山千三郎 (しげやま せんざぶろう)  
演出助手：坂口茉莉 (さかぐち まり)  
所作指導：篠塚瑞桜 (しのづか ずいおう)

指揮：藤村知史 (ふじむら さとし)  
ピアノ：尾上理絵 (おのえ りえ)

おこん：高嶋優羽 (たかしま ゆは)  
ばばさま：井上美和 (いのうえ みわ)  
じんざ：榎貴志 (ます たかし)  
ごんすけ：孫勇太 (そん よんて)

舞台監督：青木一雄 (あおき かずお)